

恒久の平和を願って「平和都市宣言」を公表

◎総務課 ☎36・7132

8月15日、島田市平和祈念式典がブラザおおるりで開催され、7月に制定された「島田市平和都市宣言」が公表されました。

宣言文は、日常生活の平和を大切に感じてもらえるよう、身近な文章表現を用いたのが特徴です。前段では、飾らないあいさつが交わされる平穏な日常を平和の象徴としてとらえ、その平和が多く犠牲と先人たちの努力によって築きあげ守られてきたことを表現。後段は、平和の尊さを未来に継承していく責任と、そのためにはなすべきことを提言して締めくくる構成になっています。染谷市長による宣言文の朗読に続き、市民でつくる制定委員が登壇し、宣言文に込めた思いを解説しました。

地域の公園美化に取り組むボランティアを激励

◎市街地整備課 ☎36・7187

8月1日、市が定める「公園愛護デー」に19のボランティア団体から約550人が参加して、市内の公園や緑地の清掃活動が行われました。

染谷市長も市内を巡回し、雑草を取りながら参加者の声に耳を傾けたり、軍手やゴミ袋を贈ったりして、日頃の奉仕活動に感謝の思いを伝えました。



市長と除草するボランティアの皆さん



平和都市宣言制定委員の皆さん

式典では、市内の小中学生が折った千羽鶴の贈呈や遺族らによる献花、島田市少年少女合唱団による合唱も行われ、出席者全員で世界の恒久平和を祈りました。

子どもたちが市役所で「1日市長」を体験

◎秘書課 ☎36・7117

島田市と川根本町の子どもたちが、地元企業や商店などで働きながら、仕事の意義や地域の魅力を知る職業体験イベント「こどもわくワーク」が、8月21日から1週間、市内各所で行われました。

これは、県が主催する「子どもと母親の地域商業自分ゴト化プロジェクト」の一環で、市民活動の仲介役として活動するNPO法人「クロスメディアアしまだ」が、企画・運営を担当しました。参加した約130人の子どもたちは、公共施設や民間企業など市内34カ所の就職先へ出勤。仕事を終えると、給与として協力店で買い物ができる疑似通貨「わくマネー」が支払われました。



市役所の幹部と特製の名刺を交換



市長の一日の予定を確認する二人

受入先のひとつである島田市役所では、永田萌さん（金谷小3年）と塚田英明くん（島田第三小3年）が「1日市長」を体験。市長室で染谷市長から任命証を手渡された二人は、市役所の各課を見学し、名刺交換や表敬訪問への対応を行うなど、市長の執務や役割への理解を深めました。

また、FM島田の番組にも出演し、市のPRに努めた二人は「市長の仕事は忙しくて大変だと思った」「市役所がとても広いことが分かった」などと話してくれました。

参加者の様子や、仕事の詳しい内容などについては「こどもわくワーク」のホームページをご覧ください。

☎<http://kodomo-wakuwork.com/>

2年後の消防広域化に向けたスケジュールを確認

消防総務課 ☎377172

8月12日、島田市・静岡市・牧之原市・吉田町・川根本町の5市町の首長でつくる「静岡地域消防救急広域化運営協議会」が、静岡市で開かれました。今回の会議では、すでに合意している2016年4月1日の広域化スタートに向けた詳細事項を決定。運営計画では、現在の4消防本部・消防局を、静岡市消防局に統合し、静岡市が4市町から消防事務委託を受けることとなります。

広域化により、管轄人口は国内最大規模の90万7000人、面積は約

2357km²

職員は約1000人に増加。今後は、職員の人事交流や合同訓練・研修を実施し、将来起こりうる大規模災害に対処できる「強い組織」の育成を進めます。



意見を交わす5市町の首長と担当者

F M局と非常災害放送協定を締結

危機管理課 ☎367143

8月11日、市と静岡エフエム放送(株)は、災害時に市の要請に応じて、優先的に非常災害放送を行う協定を結び、市役所で協定書を取り交わしました。

協定は、地震・台風・洪水・大規模火災などの非常事態が発生した時や、発生のおそれがある時に、静岡エフエム放送(K-mix)が市の要請に基づき、他の放送に優先して非常災害放送を行う内容です。

染谷市長は「災害時は正確な情報をいかに取得するかが大事。いざというときに機能するよう、市民への周知を



協定書を手にする染谷市長と祐嶋社長(右)

図つていきたい」と話しました。市では、FM島田とも同協定を締結しています。

茶道合宿のメッカとして多くのサークルが来島

文化課 ☎462344

今年の夏、関東圏域の高校や大学からの文科系サークルが多数、市内で合宿を行いました。市が文化合宿の取り組みを始めてから6年目となる今年は、茶道部だけでなく各種文科系サークルによる合宿も市内各所で行われました。

8月の一カ月で「大正大学茶道部」「学習院女子中・高等科アニメ・まんが研究会」「東京家政学院大学茶道部」「法政大学茶道サークル」などの合宿で大盛況。各サークルでは、お茶会を通じた市民交流や島田市にちなんだ作品の制作などを行いました。茶道合宿を行う団体は、川根町身成



地元の子どもたちとの交流(大正大)

の茶室「杉風庵」を利用して稽古に励んでいます。お茶会には、川根児童館「お茶っ娘くらぶ」の児童や川根中学校の生徒、身成老人クラブなどが招待され、地域との交流を深めています。

県と6市町の国際交流団体が情報交換会を開催

秘書課 ☎367396

島田市役所で8月9日、静岡県と6市町(島田市・静岡市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町)の国際交流団体の役員や事務局職員が、初の情報交換会を開催しました。

同会は、島田市国際交流協会が、設立1周年を記念して企画。各団体が抱える会員獲得や外国人活用策など現状の課題に加え、活動のあり方や予算の確保など、国際交流の今後についても意見が交換されました。



意見を交換する国際交流団体の関係者

担当者らは、広域連携の重要性を確認し、市町を超えた情報共有・発信と、同様の情報交換会を定期的に開催していくことで合意しました。